

大豆の播種時期が遅れる場合は 播種量を増やしましょう！

梅雨入り以降、降雨が続き、大豆の播種が遅れています。

一般に播種が遅れると開花までの日数が短くなり、十分な栄養生長期が確保できないため、生育量が小さくなり低収になります。

ほ場の土壌水分や播種後の天候に留意し播種作業を行いましょう。
播種時期が適期より遅れる場合は、下記の点に留意してください。

●播種量を多くする

播種時期が遅れた場合は、生育不足を栽植密度で補うため、播種時期が遅くなるほど播種量を増やし(1~2割程度)、株間を狭くしましょう。条間を30cm~45cmに狭めた狭畦密播も栽植本数の確保に有効です。

播種時期の目安	栽植密度(/10a)	播種量(/10a)
適期播種	10,000~ 15,000本	4~5kg
【ことゆたか A1号】 7月10~20日頃播種 【フクユタカ】 7月20~30日頃播種	15,000~ 18,000本	5~6kg
【ことゆたか A1号】 7月10~20日頃播種	狭畦密播(条間30~45cm) 25,000~ 30,000本	8~10kg

●適切な播種深度に

播種深度は3cmを基本とします。播種前後に降雨が予測される場合はやや浅め(2cm程度)、晴天が続くと予測される場合はやや深く(5~6cm程度)します。

●施肥で初期生育を確保

出芽後の初期生育を確保するため、基肥を窒素成分で10a当たり2~3kg施用しましょう。

●排水対策と種子消毒で出芽と初期生育を良好に

湿害を受けると生育不良になります。

排水対策を徹底し、湿害を回避するとともに、種子消毒(薬剤例;クルーザーMAXX)を行い、出芽数と初期生育を確保します。

●病虫害防除

播種時期が大幅に遅れると、開花期や成熟期が遅れるので、大豆の生育ステージに合わせた防除計画を立てましょう。

農作業中の熱中症に注意！！



- ・7~8月は、農作業中の熱中症による死亡者数が特に増える時期です。
- ・気温が高い時間帯の作業を避け、こまめな水分・塩分補給を行いましょう。
- ・なるべく2人以上で作業を行い、熱中症対策グッズを積極的に活用するなど、対策をしましょう！